

# 経済建設常任委員会

日時：令和8年2月17日（火）

経済建設分科会終了後

場所：第1委員会室

## 1 付託議案の審査

○議案第6号 令和7年度島田市公共下水道事業会計補正予算（第3号）

○認定第8号 市道路線の廃止について

## 2 所管課からの報告事項

○産業経済部

内陸フロンティア推進課

・牛尾山東地区工業用地（2-2区画）の立地企業選定方法について

..... 資料1

○観光文化部

観光課

・第2次島田市観光戦略プランの策定状況について..... 資料2

## 3 その他

# 付託議案審査項目（経済建設常任委員会）

令和 8 年 2 月 17 日

◎令和8年2月16日上程議案

議案名及び内容	議案頁	
	議案	予算に関する説明書
議案第6号 令和7年度島田市公共下水道事業会計補正予算（第3号）	36頁	91～99頁

議案名及び内容	議案頁	説明書・参考頁
議案第8号 市道路線の廃止について	40頁	5頁

牛尾山東地区工業用地（2-2区画）の立地企業選定方法について

1 要旨

牛尾山東地区工業用地（2-2区画）について、令和7年12月までの期限により立地企業を募集したところ、応募はありませんでした。ついては、当該工業用地への立地企業の選定方法を改めて決定しましたので、以下のとおり御報告します。

2 前回募集の概要

工業用地／区画名称	牛尾山東地区工業用地／2-2区画
所在地	島田市 牛尾 地内
分譲予定面積	3,065.85 m <sup>2</sup> (約929坪)
販売予定価格	概算 96,200 千円 (31,400 円/m <sup>2</sup> )
公募対象事業所	製造業の工場、植物工場、物流施設、漁業施設、研究施設、廃棄物処理施設を建設し、自ら事業を営むもの。
申込受付期間	令和7年9月19日～令和7年12月26日
引渡し予定時期	令和8年7月以降

3 募集結果に対する考察

- ◇ 応募を見込んでいた2社の見送り理由は、スケジュール、希望面積との乖離。
- ◇ ほか、仲介事業者（デベロッパ・金融機関）を中心にヒアリングを実施。
- ◇ 立地規模ボリュームゾーンとのずれ、資材高騰等を踏まえた慎重姿勢といった見立てが示されるも、募集内容自体を不適切とする指摘はなく、当該用地への立地ニーズが存在することの蓋然性も確認できた。
- ◇ 用地特性に応じた周知や選定のあり方についての課題も認識した。

4 販売方法及び販売先選定の方法

(1) 販売方法：1者随意契約

(2) 販売先選定の方法

仲介事業者や関係機関から情報提供があった複数の候補事業者等に対し、事務局が立地に向けた折衝を直接行い、立地企業を選定することとします。

5 今後のスケジュール（目標）

内容	時期	備考
周知活動・情報収集 候補事業者との折衝	令和8年2月～5月中旬	
立地企業の決定	令和8年5月下旬	R7 決算理事会を目標
土地売買契約締結	令和8年6月末	
土地引き渡し	令和8年7月	

# 位置図



## 第2次島田市観光戦略プランの策定状況について

### 1 改定の趣旨

「島田市観光戦略プラン」は、本市が有する豊富な地域資源を効果的・効率的に活用する観光施策を推進し、「観光で稼ぐ」地域づくりの実現を目的に令和3年1月に策定しました。

その後、本プランの推進を図る中で、令和7年10月に島田市観光協会が地域DMOに登録されたほか、訪日外国人が過去最大を数えるなど、観光を巡る環境は大きく変化しています。そういった中で、本プランの計画期間が満了を迎えることから、「観光で稼ぐ」地域づくりの更なる深化を図るため、現観光戦略プランに関する課題や時代潮流等を踏まえ改定をします。

### 2 これまでの経緯

- ・庁内策定委員会 計3回開催(10月・12月・2月)
- ・推進委員会(外部委員) 計2回開催(11月・1月)
- ・地域事業者とのオープンサロン 各エリアで2回開催(11月・1月)  
(島田駅周辺エリア、静岡空港周辺・賑わい交流拠点エリア、川根温泉周辺エリア)

### 3 前戦略プランからの変更点

- ・経済波及効果など「観光で稼ぐ」を測る重要目標達成指標(KGI)を設定
- ・基本戦略に「インバウンド施策の強化」を新たに位置づけ
- ・宿泊者の獲得と観光消費額の増加に繋がる施策を位置づけ
- ・「観光で稼ぐ」の主体である、地域事業者との連携を強化した推進体制の構築

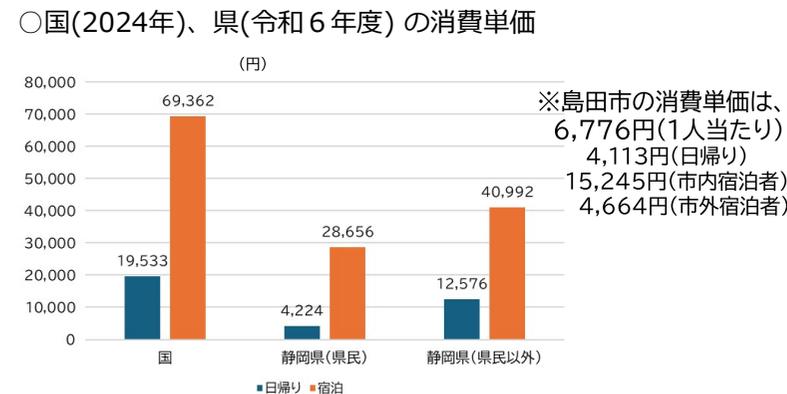
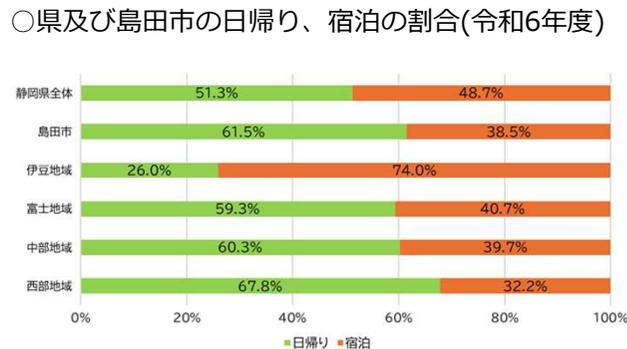
### 4 第2次島田市観光戦略プランの概要

- (1)【目指す将来像】初めて来ても懐かしく、何度来ても新しい島田
- (2)【観光戦略の推進における基本的方針】
  - ・EBPMとデジタルマーケティングを兼ね備えた観光施策の推進
  - ・DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
  - ・消費機会の創出を目的とした地域事業者の育成
  - ・観光振興を通じた地域住民のシビックプライドの醸成
  - ・広域連携による効果的、効率的な観光振興策の推進
  - ・インバウンドの積極的・効果的な獲得
  - ・戦略プランの推進体制の構築
- (3)【計画期間】令和8年度から令和12年度まで(5年間)
- (4)【基本戦略】
  - 基本戦略Ⅰ 効果的・効率的な情報発信
  - 基本戦略Ⅱ 消費を促す魅力的な商品の開発、流通促進
  - 基本戦略Ⅲ 快適な旅のための環境整備
  - 基本戦略Ⅳ インバウンド施策の強化(基本戦略Ⅰ～Ⅲ横断的)

### 5 今後のスケジュール(予定)

- ・パブリック・コメント 令和8年2月20日から3月23日まで
- ・庁内策定委員会 3月下旬
- ・推進委員会(外部委員) 3月下旬
- ・第2次島田市観光戦略プラン策定完了・公表 4月中旬

## 第1章 前戦略プランの課題分析、観光をめぐる最近の動向



## 第2章 観光戦略ビジョン

### 【将来像】

**初めて来ても懐かしく、何度来ても新しい島田  
~ “ようこそ” と “ただいま” が呼応する大井川流域へ~**

### 【基本理念】

- 地域の事業者を育て、連携・支援し、観光コンテンツを充実させることで、滞在率や再訪率を高め、消費機会の創出と拡大を図る。
- 大井川に培われた歴史や文化、豊かな自然を未来につなぐとともに、地域資源に新たな価値を付加することで地域ならではの魅力を磨き、ファン獲得を図る。
- 市民にとっての暮らしやすさと訪客の過ごしやすさを両立させ、双方にとって望ましい観光地域を創る。

### 【基本戦略】

- 基本戦略Ⅰ 効果的・効率的な情報発信
- 基本戦略Ⅱ 消費を促す魅力的な商品開発、流通促進
- 基本戦略Ⅲ 快適な旅のための環境整備
- 基本戦略Ⅳ インバウンド施策の強化

重要目標達成指標(KGI)	基準値	目標値(R12年度)
観光消費額	73.0億円	100億円
観光消費に伴う経済波及効果	R8年度に設定	R8年度に設定
来訪者満足度	80.6%	85.0%
観光事業者の平均給与	R8年度に設定	R8年度に設定
観光客が来ることにより、地域に活気が出たと感じる市民の割合	34.4%	41.0%

主な重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値(R12年度)
観光交流客数	2,949,151人	4,000,000人
(インバウンド)	(23,728人)	(200,000人)
宿泊者数	261,493人	300,000人
(インバウンド)	(11,142人)	(25,000人)
観光消費単価	6,776円/人	8,100円/人

## 第3章 アクションプラン

### 【基本戦略ごとにアクションプランを設定】

#### 基本戦略Ⅰ 効果的・効率的な情報発信

- ① オンライン上での情報発信
- ② インフルエンサー等を使った情報の拡散
- ③ 旅行者等とのリレーションシップの構築・活用
- ④ 啓発機会を捉えた観光プロモーション

#### 基本戦略Ⅱ 消費を促す魅力的な商品開発、流通促進

- ① 地域資源の発掘・磨き上げ
- ② 観光資源を活用した商品開発
- ③ イベント開催を通じた消費機会の創出
- ④ 魅力的な観光特産品の開発
- ⑤ 観光商品の販売・流通促進

#### 基本戦略Ⅲ 快適な旅のための環境整備

- ① 観光地としてのデジタルシフトの推進
- ② 回遊性を高める環境整備
- ③ 安全・安心な観光地域を目指す環境整備
- ④ 観光に携わる事業者・人材育成/活動支援

#### 基本戦略Ⅳ インバウンド施策の強化

- 柱1 ターゲットの設定
- 柱2 情報発信・マーケティング
- 柱3 コンテンツ整備と受入環境の整備

### 【アクションプラン推進体制】

